

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書			
愛媛県立八幡浜高等学校 定時制			
学校番号（ 34 ）			
評 価 実 施 日		令和 7 年 2 月 12 日（ 水 ）	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	井上 靖	八幡浜市教育委員会教育長	
	大岩 育夫	本校定時制教育振興会長	
	村上 剛	八幡浜市松柏中学校校長	
	中井 貴一	株式会社中井建設(代表)、学校評議員	
	勝川 房子	学校関係者評価委員（元本校職員）	
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等	
今年度の最終評価について (1) 学習指導 「確かな学力の育成」のため、教員は指導方法の工夫・改善に努めており、生徒もある程度評価しているようだが、保護者の理解が不十分であることが残念である。 (2) 特別活動 定時制体育祭は、保護者の参加がとて多く、子供たちも一生懸命活動をしており、とてもいいなと思った。全日制の卒業生からも、定時の運動会ですごいよねとの話が入った。 (3) 生徒指導 月別欠席状況を見ると、5月や長期休暇明けは、欠席も多くなることで、個人面談を休み前やプラスαされていると聞いたので、今後も不安や悩みを打ち明けられる人間関係を作っていただきたい。 授業を参観して、生徒はとても落ち着いた授業態度で受けていて、生徒と先生が一つになっているなど感じた。一人でも多く社会に送り出すことができるようになりたい。 (4) 進路指導 地域の方や定時制を卒業後に活躍されている方、あるいは年代の近い卒業生から話を聞く機会を設けることで、進路を考える有効なきっかけ作りになるのではないかと。 (5) 人権・同和教育 人権・同和教育ホームルーム活動後の意識調査では、生徒が授業に対して親しみやすさを感じている点が評価できる。 生徒の発達段階に応じた人権・同和教育を行えるように努めていただきたい。 (6) 保健管理 基本的な生活習慣を身に付けることが健康管理によって重要になる。きちんとした食生活をする事で、健康の維持ができるようにかていと連携に努めてほしい。 (7) 安全管理 災害が多発している現状に対応できるように、生徒の安全を第一に考えたうえで、防災対策の周知徹底に取り組んでほしい。 (8) 特別支援教育 生徒に寄り添い、人間関係を深めていくことはもちろん、保護者等に対しても、要望や相談を一生懸命に聞くという学校側の姿勢が大切だと思う。 (9) 研修 コミュニケーションの苦手な生徒にとって、ICT機器の活用は重要な問題である。ICTに慣れ親しむことも大事だが、ノートを取ることで。対面で話し合い、発表することにも取り組んでほしい。 (10) 保護者との連携 担当の先生の負担はあると思われるが、今後もホームページの更新や、毎月の学校だよりや保健だよりの発行を続けてほしい。 (11) 業務改善 先生方の心身の健康が大切である。働きやすい職場環境づくりや休暇取得の促進が出来ていると思う。これらについては今後も継続し、更なる業務改善に努めてほしい。		・今後も個々の生徒の習熟度を考慮した指導方法の工夫・改善を図り、意欲的に活動できる学習環境を整えたい。 ・集団演技火祭りや保護者参加種目の呼びかけなど、本校独自の取り組みを大切にしながら生徒からの意見や要望も取り入れた、体育祭や特別活動を行っていききたい。 ・今後も、学期前後の個人面談や気になる生徒にはプラスαの面談を実施し、必要に応じて担任だけでなく、全教職員で情報共有をし、生徒指導を行いたい。 ・基本的な生活習慣の確立や、規則や規律を遵守することの大切さを継続して指導し、落ち着いた環境で授業が行えるよう日々の指導を行っていききたい。 ・講演会や座談会、会社説明会等の開催を検討し、キャリア教育の充実を図りたい。 ・校外研修に積極的に参加し、そこで得た情報を共有し、ホームルーム活動等で活用できるようにしていきたい。 ・食べること、運動すること、よく眠ることが健康維持の源と考え、引き続き保健センター講師による健康教育を実施したり、健康だよりを活用したりしていきたい。 ・校内だけでなく家庭や外出先において被災した際にも、自分で考えて行動ができるよう災害に対する備えを徹底させていきたい。 ・生徒の実態把握に努め、個に応じた対応を今後も実践していくと共に、保護者等と意思疎通を図り、生徒支援に向けて連携していきたい。 ・ICT機器の使用はあくまでも目的ではなく手段であることを理解して、生徒の学習意欲の向上につながるような授業が実施できるよう研修に努めたい。 ・今後もホームページ等で学校の状況を保護者や地域に発信し、開かれた学校を積極的にPRしていきたい。 ・教員数は少人数ではあるが、互いに協力して業務の均等化に努め、教員の負担をできる限り減らし、働きやすい環境づくりに努めていきたい。	